

# 議会だより

2010

8



## 福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会

委員長 野田勝康 副委員長 大西敏博  
委員 高宮泰一・稲垣司郎・荒川浩司・木戸正隆  
大谷洋介・審良和夫・高宮辰郎・塩見 仁

「ふくちやまし議会だより」アンケートにご協力をお願いします。

## 主 な 内 容

|                              |      |
|------------------------------|------|
| 6月定例市議会の概要、請願の審査結果・意見書 ..... | 2    |
| 一般質問 .....                   | 3～15 |
| 常任委員会の審査報告 .....             | 15   |
| 議会日誌、9月定例市議会の予定、編集後記 .....   | 16   |

## 6月定例市議会の概要

6月定例市議会は6月4日から24日までの21日間にわたって開催された。

この議会には、「平成22年度福知山市一般会計補正予算（第1号）」など11議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。また、委員10名で構成する「福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会」を設置した。

さらに、人事議案は、人権擁護委員の候補者3名の推薦に同意した。また、意見書2件を可決し、関係機関へ送付した。

### ◆補正予算

一般会計では、介護基盤緊急整備特別対策事業4億7290万円、消防車両更新事業994万5千円、国民文化祭推進事業400万円ほか総額4億9587万3千円を補正し、補正後の総額を406億2587万3千円とした。

### ◆条例

「福知山市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例」、「福知山市職員の育児休業等に関する条例」、「福知山市税条例」及び「福知山市国民健康保険条例」の一部改正を行った。

### ◆その他

・工事請負契約の締結について（4件）  
川口地域他FTTH網整備工事  
夜久野地域他FTTH網整備工事

### 備工事

庵我地域他FTTH網整備工事  
福知山停車場長田線・末広荒河線道路築造工事  
和解について  
専決処分承認について  
福知山市税条例の一部改正ほか4件

### ◆報告

・平成21年度予算繰越計算書について  
・その他の債権の放棄について（3件）

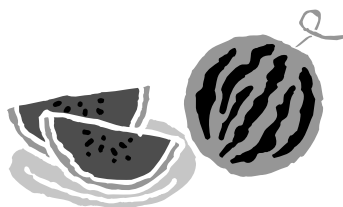
### ◆人事議案

・人権擁護委員  
蔦田羊子さん（今西中 61歳）  
足立恵子さん（直見 54歳）  
大垣博義さん（二俣 59歳）

### 6月定例会で提出した意見書

- 永住外国人地方参政権付与法案提出の慎重な対応を求める意見書
- 選択的夫婦別姓法案提出について慎重な対応を求める意見書  
平成22年6月24日付

衆議院議長、参議院議長、  
内閣総理大臣、総務大臣、  
法務大臣 宛



### 請願の審査結果

#### ■採択となったもの

- 永住外国人地方参政権付与法案提出の慎重な対応を求める意見書採択を要望する請願
- 選択的夫婦別姓法案提出について慎重な対応を求める意見書採択を要望する請願  
請願者 上記2件 林 秀俊さん、大林八十彦さん

- 放課後児童クラブの安全で充実した運営を求める請願

請願者 大正児童クラブ 飯田直幸さん  
遷喬児童クラブ 大槻ゆかりさん  
下六人部児童クラブ 原田とよ子さん

#### ■不採択となったもの

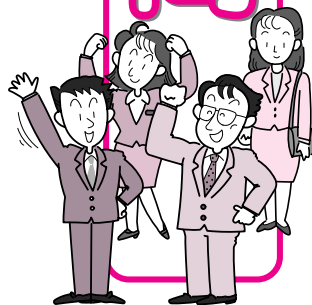
- 児童クラブ（学童保育所）の開設時間変更と保育内容拡充に関する請願  
請願者 大江学童保育所ピノキオ後援会  
眞下真弓さん

- 日米FTAの推進に反対する請願

請願者 福知山農民組合 平野 力さん  
三和農民組合 樋口泰夫さん  
夜久野農民組合 衣川利章さん  
大江農民組合 大槻重明さん

6月  
定例会

## 一般質問



## 自由民主党議員団

木戸 正隆 議員

## 相次ぐ不祥事に対する市長の洗い直し指示は

**問** 不祥事の根幹にある前例踏襲の悪しき慣例を全て断ち切り、膿を出し芯まで出し切る。今後の再発防止と改善の手法を問う。

**答** 今回のようなことを改めるために私は市長になったのであり、今、痛みを感じて膿を出し、職員の意識改革、市民との協働、財政の健全化と組織体制の改善を公約の柱に掲げ市政を推進していく。

(企画政策・企画推進課)

## 福知山市土地開発公社の不適切な決算処理は

**問** 簿価があるのに、それを照会せずに購入していたこと自体チェック機能がなく言語道断で

ある。市は正しい簿価を作成すべきではなかったか。

**答** 個々の簿価を確認するとう意識がなかったたので、確認できていなかった。今後は、先行取得依頼を行った課に公社から簿価の提示を受けて、売買価格を確認するように指示した。

**問** 公払法は公社による虚偽決算報告に罰則を設けているが、市の対応を問う。

**答** 今回のケースは、利益を準備金に積み立てずに簿価を引き下げていた行為が第18条第4項に抵触する。市として当該罰則適用となる私を含めた役員の範囲などについて、現在検討している。

**問** 公払法第16条第10項、第19条について市の所見を問う。

**答** 刑法その他の罰則の規定については、公務員とみなすものであり、本市の場合も適用となる。第19条については、公社に

対する市や府及び国からの監督規定であり、今回決算処理について誤りがあったので、直ちに簿価の修正をするよう指示した。

**問** 市の対応策と改善手法をどのように遂行するのか。

**答** 再発防止のために職員の意識改革を強化し、公社役員に積極的に民間人を登用することにより、監視機能の強化などを図っていく。さらに、公社の情報を公開することにより、透明性を確保していきたいと考えている。

(財務・財政課)

## 子ども手当支給事務の対応は

**問** 5月末の申請済みの割合と公務員の二重申請はないか。

**答** 第1回目の6月8日支給対象分の5月19日までの申請件数では、子ども手当額改定請求書が476人(82・6%)。新たに該当する認定請求書が748人(38・8%)。子ども手当の請求書で請求者、配偶者双方の職業がサラリーマンか公務員であるかなどを確認しており、二重申請はないものと考えている。

**問** 子ども手当の支給状況は

**答** 6月8日に支給した4月、5月分の支給額は、2億486

5万1千円で、児童数は延べ1万9127人である。

(福祉保健・子育て支援課)

## 公明党議員団

今次 淳一 議員

## 有害鳥獣対策について

**問** 不幸にも有害鳥獣の駆除隊員による痛ましい事故が発生したが、駆除を依頼した行政側からの対策と課題は

**答** 直ちに駆除隊の役員会を開くよう要請し、事故翌日の臨時役員会で安全対策を確認した。また駆除活動に対する心構えと留意事項を徹底するよう指導をした。

**問** 現在の狩猟期間は11月15日から翌年の2月15日までの3カ月となっているが、駆除隊の負担を減らすためにも、1カ月間の延長を以前より要望している。京都府の見解は

**答** 京都府では、市町村や猟友会へのアンケートをとおして、科学的見地から専門的な意見を踏まえて期間延長について方向性を探っていきたいとの回答であった。福知山市としては引き



続いて要望していく。

(農林商工・林業振興課)

## 三段池公園多目的グラウンドの整備について

**問** 現在設置のサッカーゴールは鉄製で重く、移動させるときけがをすることも。鉄製の約4割の軽さであるアルミ製に取り換えはできないか。

**答** このサッカーゴールは平成13年5月より使用している。耐用年数は10年から15年で、次の更新時期は、平成28年くらい。今後はアルミ製に交換する必要があると考えている。

(土木建設・都市計画課)



サッカーゴールの移動状況

## 買い物難民対策について

**問** 近隣の商店の衰退や交通手段の不足で、日常の買い物に自由になる「買い物難民」は全国で約600万人と発表された。過疎地や高齢者の住民は困っている。福知山市の具体策は。

**答** 現在、外出支援の助成事業、配食サービス事業を実施している。また、福祉有償運送（タクシー料金の2分の1程度）を利用いただくことにより、買い物などの外出が可能となっている。今後とも社会的な課題として認識しなければと考えている。

(福祉保健・高齢者福祉課)

## 原爆被災写真パネル展示

**問** 福知山市も加入している「日本非核宣言自治体協議会」では、「ミニミニ原爆展都市開催キャンペーン」を実施している。原爆投下から65年目の今年、庁舎や各支所のロビーで開催してはどうか。

**答** 悲惨な状況を知ってもらうために、また核廃絶に向けた機運を高めるうえでも大事である。市役所ロビーでの展示も含めて検討していきたい。

(市民人権環境・人権推進室)

## 大谷 洋介 議員

### 福知山市土地開発公社の簿価操作のための裏金づくりに対する市の見解は

**問** 前期損益修正益の項目で簿価修正額として出された11億3718万5672円の裏金作りに対する市長の考えは。

**答** 平成21年度の決算書に全て記載しており、裏金づくりとは思っていない。長期借入金返済にあてている。

**問** 過去すべてにわたる簿価修正額を公表する意思はあるか。

**答** 今のところ考えていない。

**問** 簿価操作は、職員が遊休地の活用やバブル崩壊時の地価の下落を憂いて、理事長に相談せず、違法性の認識もなく勝手にしたとの報告は信じられないが。

**答** 聞き取り調査の報告はそうであった。

(財務・財政課)

**問** 情報公開条例を改正し、土地開発公社を実施機関とし、全ての公文書の公開は可能か。

**答** 公社に基準を設けて、自主的に情報開示するよう指示している。

(企画政策・秘書広報課)

**問** 新防災センター、(仮称)都センター、新学校給食センタ

ーなど、公社の土地に建設予定施設の用地取得の議決は無効になるか。

**答** 市の用地取得に瑕疵はないと考えているが、市議会の調査特別委員会の調査の動向を見ながら進めていきたいと考えている。

(企画政策・企画推進課)

## 子宮頸がんワクチンの公的助成について

**問** 日本で年間約1万5000人が発症し、約3500人が亡くなる。検診と予防ワクチンの接種でほぼ100%防げ、医療費の節減にもつながる。負担軽減のための助成の考えは。

**答** ワクチンは子宮頸がんを予防できる唯一の予防接種。6カ月の間に3回接種が必要で費用は約5万円である。国・府での助成の動きを注視していきたい。

(福祉保健・健康推進室)

## 地域医療の再生と未来を担う福知山市民病院の現状は

**問** 日本医療マネジメント学会雑誌に香川市民病院院長の巻頭言が掲載されているが、内容は地域医療を再生させる処方



グラウンドオープンから3年経た市民病院

箋を考察した。IT化と保健・医療・福祉機関をつなぐ人材の育成が必要であり努力したい。

**問** 全国の自治体病院の中で減価償却は残るものの医業収益が奇跡的な伸びを示している。一人当たりの入院単価、在院日数が大きく改善され、また、医師・研修医・看護師数ともに着実に増えているが、その要因は、

**答** 診療機能の質の向上とマンパワーの充実に尽きる。さらに教育研修に力を入れたい。

(市民病院事務・総務課)

## 新 政 会

審良 和夫 議員

### 福知山市土地開発公社の不適正決算処理に対する市の見解について

**問** 市長の理事長としての責任は、

**答** 理事長としても、市長としても、長年気が付かなかったことに對し深く反省し、市民にお詫びする。

**問** 全容解明と再発防止策は、

**答** 関係者延べ57名に聞き取り調査を行った結果、昭和60年頃から公社の損失をできるだけ抑えるため、簿価の引き下げが公社事務局内で行われ、その後、事務引き継ぎで今日まできた。再発防止には職員の研修と意識改革を強化する。また、公社役員に民間有識者を入れ、透明性を図っていく。

**問** 一定の役目を終えたと感じる土地開発公社の存廃は、

**答** 今すぐつぶすのではなく、これまでの実績とこれからのことを見届け、存廃について考えていきたい。

(財務・財政課)

### イベント補助金打ち切りに見る市民の声を聞く市長の姿勢の変化について

**問** ミニSLフェスタの実行委員会などの市民の声は、届いているか。

**答** 全国から281名のミニSL愛好家から存続を求める陳情書も届き、地元からも復活の要望もあった。5月13日ミニSLフェスタ実行委員会を開催したが、委員の多くから事業存続の声があった。また、事業内容の見直しについても意見があった。今後多くの声を聞き、実行委員会の協議結果を見て対応を検討したい。



楽しくにぎわった思い出のミニSLフェスタ

**問** 9月定例会に補正予算で補助金復活の予定は、

**答** 厳しい財政状況から苦渋の判断で、予算廃止を決めたが、行政主体から市民主体へ運営方法の転換を図る時代になった。今のところ予算措置は考えていないが、実行委員会の協議結果を見て検討する。9月に予算を組むか組まないかは言えない。

(農林商工・商工振興課)

**問** 大型事業の今後の考え方は、

**答** 一度立ち止まり、事業の効果や費用などを再検証して、市民の声も聞きながら進めたい。新学校給食センターは、公設市場の赤字低減も考慮して、一石二鳥の効果が上がると考え、公設市場用地に変更し、平成22年度に用地購入と設計を実施する。(仮称)都センターについては、市長の試金石である市民検討会議の検討結果を尊重し、今後、庁内プロジェクトで検討する。

(教委・学校給食センター、企画政策・企画推進課)

### 徴収漏れなど事務処理ミスの多発について

**問** 要因と防止策は、

**答** 疑問を持たずに前例踏襲でやって来て、長期間のチェックと改善の取り組み不足が大きい



要因である。再発防止は、職員  
の意識改革が一番であると考え  
る。  
(企画政策・企画推進課・総務・職員課)

## 杉山 金三 議員

### 市長就任2年を振り返って

**問** 就任2年を振り返って市長  
の思いと決意は

**答** 市民を主役にして、英知を  
結集していきたい。1年目は礎  
を築く年、2年目は不況でもチ  
ヤレンジをキーワードにして一  
生懸命市政を進めてきた。机の  
上には、市長選挙時のマニフェ  
ストを置いている。自己評価は  
あまり良くないが、9割程度進  
んでいると思っている。会合や  
個人であちこち歩くなど、市民  
と頻繁に接し、その都度課題を  
もらっている。今後は市の人口  
減少が予想されるので、一元的  
一過性の行事よりも10年、20年  
を見越して予算を組んでいき  
たい。今後とも市民のために頑張  
りたい。

### 市民の意向を汲み取る手 法について

**問** 市民の意向や思いをどのよ  
うに汲み取っているか。

**答** 常に市民と接触し、市民の  
意向を聞き、また、自治会長さ  
んななどのパイプも太くしてい  
る。市長も市役所の一職員とし  
て働き、職員がこの精神を引き  
継ぎ身近な窓口となって働いて  
くれればありがたい。  
(企画政策・秘書広報課)

### 生活保護について

**問** 事務処理体制はどのように  
なっているか。

**答** 国の基準では、ケースワ  
ーカー1人当たりの担当世帯数80  
世帯に対し、本市は8人のケー  
スワーカーで、1人あたり85・  
9世帯となっている。職務は、  
訪問調査、援助方針を定め、最  
低限度の生活の維持、経済給付  
及び自立支援と障害者が社会的  
自立できる支援を行っている。

### 市の生活保護自立支援プロ グラムの実施状況は

**答** ハローワークと協力、就労  
支援プログラムを実施している。  
本年度から多重債務解決支援プ  
ログラムにも取り組んでいる。  
平成21年度は就労支援対象者49  
名の内15名が就職、その内、生  
活保護廃止件数は5件で、生活  
保護費504万円が削減できた。  
(福祉保健・社会福祉課)

### 由良川改修事業について

**問** 由良川中流部(観音寺興地  
区、私市地区、雀部地区、安井  
地区、高畑地区)の今後の改修  
計画について。

**答** 観音寺興地区内の暫定堤防  
部分については、対岸の私市地  
区の進捗に配慮し、完成堤にし  
たいと聞いている。私市地区は  
府の管理河川の相長川の改修計  
画と調整を図りながら本年度に  
事業計画を決定し、用地の確定  
作業を進めると聞いている。雀  
部地区は、戸田橋までの一定整  
備された段階で、下流部へと整  
備する予定であるが、現在具体  
的な整備計画は未定と聞してい  
る。安井地区は安井川樋門の翼  
壁工事が予定されている。築堤  
については、安井笹巻間の府道  
舞鶴福知山線の改良工事の進捗  
と合わせて工事を進めると国土  
交通省から聞いている。整備計  
画に入っていない高畑地区につ  
いては、平成22年度から本格的  
に整備計画の見直しが進められ  
る予定で、国に対し強く要望し  
ていく。  
(土木建設・都市整備課)

## 福 政 会

## 福島 慶太 議員

### 福知山市土地開発公社の 決算処理に対する市の見 解について

**問** 粉飾決算作成の歴史的背景  
は

**答** 昭和60年頃に公社が保有す  
る土地価格が下落し、損失発生  
をできるだけ抑えるため簿価を  
操作する事務が行われ、その後  
30年余り引き継がれてきた。

### 今回の決算処理についてだ れに責任があるのか。

**答** 事務方が誤った決算処理を  
していたが、実際には理事長や  
専務理事、理事などの役員に責  
任がある。

### 二度とこのようなことがな いよう、どのような仕組み作り をされるのか。

**答** 今回の事例を十分検証し、  
職員に公正な計数管理の研修を  
行う。また、情報開示の検討を  
図り、民間人を組織の中に登用  
して、チェック機能を果たして  
いきたい。  
(財務・財政課)



たくさんの市民でにぎわうミニS Lフェスタ

## ミニS Lフェスタについて

**問** ミニS Lフェスタの予算カットについて。

**答** 今回は10年をこえたイベントを見直した。予算はカットしたが実行委員会を中心とした市民ボランティアによる運営を期待したい。

**問** 今後福知山市としてのミニS Lフェスタへの支援体制は。

**答** アンケートを実施し、さまざまな方の意見を聞きながら実行委員会の協議結果を見ていきたい。継続可能なイベントになるよう期待したい。

(農林商工・商工振興課)

## 惇明小学校卒業生の中学校進学について

**問** 惇明小学校の児童は卒業後南陵中学校・桃映中学校・成和中学校に分かれて進学している子どものことを考え、早急に改善すべきだと思うが考えは。

**答** 地域住民、保護者、自治会などの意見を聞きながら決めていきたい。また、通学区の再編についてはいづれ問題になると思われる、その時に再検討したい。

(教委・学校教育課)

芦田 弘夫 議員

## 有害鳥獣撲滅を強力に

**問** 周辺農村の最大課題は有害鳥獣問題だ。厳寒も積雪もない温暖な近年はシカの繁殖が著しい。有害鳥獣撲滅を強力にすすめるべきだ。しかし、行政は動物愛護や共生だとかで撲滅への規制や取り決めごとによって有害鳥獣撲滅に大きなブレーキとなっている。例えば狩猟期間、駆除期間によって強力な駆除を阻害している。狩猟期間中、農区での樫やサクの使用を禁止したり設置した樫をわざわざ引き上げたり規制がある。使用禁

止でなく許可すべきだし、狩猟期間中も捕獲奨励金を出すべきである。

**答** 狩猟期間のワナ、樫の使用を検討する。狩猟期間の奨励金の見直しは考えていない。

**問** 捕獲奨励金はシカの場合、市からは1頭、11400円が支払われているが、ワナや樫での捕獲者へは班によっては半額以下の支払の地域があると聞く。平成21年度の捕獲数は、ワナ、樫では2307頭、鉄砲では451頭で、ワナ・樫での捕獲数は年間の84%の成果を上げておられる。適正な奨励金配分を強く要望する。

**答** 実態を把握する。

(農林商工・林業振興課)

## 高齢者の活用と元気の出る施策の推進を

**問** 市民8万1691人に対し高齢者は2万0953人。4人に1人が高齢者である。また、その8割が健常者と言われている。4月に市中央公民館で高齢者大学が開設された。200人を超える参加者で、女性8割方の盛況で真剣に受講された。向学の志は旺盛で市の呼びかけのボランティアなどに進んで出か

けるとの声を聞く。S Lフェスタ、花火大会後の清掃、マラソン後の清掃など、市は呼びかけをしてはどうか。

**答** いろいろな講座を中央公民館や地域公民館で計画している。個々の研鑽を積んでいただくとともに健康教室などを通じて健康保全に役立ててほしい。また、無理のないボランティアなどに御協力いただければありがたい。

(福祉保健・高齢者福祉課 教委・中央公民館)

## 過疎化周辺農村部の所得確保について

**問** 周辺農村部の一般的な小規模農家の状況は、若者は街の職場に勤め、家に残る高齢者が稲作をかううじてしている。若者が意欲的に農作業ができるようにならないか。

**答** 国の農家所得の支援策には、中山間地域等直接支払交付事業や戸別所得補償モデル対策などがある。意欲的に施設園芸、ハウス栽培などで京野菜の水菜、万願寺とうがらし、ワサビ、ミョウガなど、年間切れ目なくハウス内に栽培野菜が溢れているような複合経営をしていくことが大事である。

(農林商工・農業振興課)



## 竹下 一正 議員

## 下水道使用料の賦課漏れ問題について

**問** 平成22年2月に賦課漏れの発覚した家屋の使用者には遡及して賦課しない旨を説明したという対応についての決裁処理はどうされたか。

**答** この時点では、排水設備の竣工届や使用開始届の有無等を担当者だけで全件調査することは困難であると判断し、従来の事務処理の慣例にならない、翌月分以降から賦課することにした。その後、使用開始時期の開始届の記入と今後の使用料の賦課についてお願いするために使用者宅の訪問を実施した。従ってこの時点では、平成21年度調査分の賦課漏れ家屋に対する使用料の取り扱いについての決裁処理は行っていない。

**問** 平成22年3月には「最長5年遡及して賦課することができること。使用者の公平性を確保する必要があることから法的に可能な限り遡及して賦課することが適切と判断した」と言われているが、この対応についての決裁権者は市長か、部長か。

**答** 平成21年度の未水洗家屋調

査に伴う45件の賦課漏れ家屋について、今後の使用料の賦課についての使用者の皆様の一定の理解が得られたということで、本年3月に理事者に報告をした。この際に法令遵守の観点や公平性の見地から遡及賦課すべきとの判断があり、これまでの対応も含め直ちに事務処理方法を改めるよう指示を受けた。

(下水道・下水道管理課)

## 公設市場の改修整備と活性化について

**問** 卸売棟と関連棟を一体化することで公設市場が活性化することか。

**答** 卸売棟と関連店舗が離れていることは大変不便である。移転後の関連店舗用地と駐車場用地を売却して、市場特別会計の借入金を一括返済して累積赤字の解消に努めたい。財務の健全化を図りながら、今後も公設市場として存続、発展させるような条件を整えていきたい。また、農家や果樹等の生産者についても、安心して利用いただける地場野菜の出荷基地として、併せて消費者に安全、安心な農産物の提供をできることを基盤としている。さらに学校給食との連

携による地産地消や食育推進の要として、公設市場の役割を発揮し活性化に努めていきたい。

(農林商工・公設地方卸売市場)



関連店舗の移転整備等が進められている公設市場

## 明政会

池田 雅志 議員

## 鳥獣被害防止計画を見直し、より効果的で効率的な駆除・防護を問う

**問** 駆除隊員の高齢化と後継者問題は、今後ますます深刻化することが予想される。そこで銃器から安全で効率的なワナ、檻・柵への捕獲方法の見直しの考えは。

**答** 昨年の捕獲実績から猟具別捕獲頭数割合は、銃器が16%、ワナ、檻、柵では84%を占めていて、結果的には捕獲は銃器以外の状況にあるといえる。一方、ワナ猟免許所持者の比率は、平成20年度が54%、平成21年度が59%となっており、ワナ猟免許所持者が増加している。



捕獲したイノシシ

**問** 大分県中津市では、鳥獣被害を災害と捉えられていて、集落に野生鳥獣を寄せつけず安心して農業生産に従事できる環境整備が必要であるとの考えのもとで、集落ぐるみの共同防護柵(フェンス・金網柵)の設置が推進されている。本市の考えは。

**答** 集落を囲むなら、金網柵が有効であると考えている。地域の状況などによっていろいろと条件も違いがあり、適している



方法を指導していきたい。

**問** 今回の事故の教訓を生かし、一般の入山者らへの誤射を防止するための駆除場所や日時の広報も検討し、徹底した安全対策を望むが。

**答** 毎月の捕獲活動実施計画書の提出をすべての班に求めて、事前に各農区に通知する取り組みも必要と考えている。銃器を持って山に入る場合、駆除活動を知らせるのぼりを立てることを徹底したい。

(農林商工・林業振興課)

## 放課後児童クラブ指導員の勤務時間の短縮

**問** 財政難の理由から指導員の勤務時間6時間が今年5月から5時間に短縮された。9月には4時間勤務が検討されているが指導員に理解されるのか。

**答** 昨年度までは午後1時から午後7時までの6時間勤務としていたが、平常授業時は利用が午後3時以降で、午後6時以降は減少しており児童利用数に応じた指導員の配置と勤務時間の見直しを行っている。時差出勤などの勤務も可能と考えている。**5時間、4時間勤務体制の根拠となる1日の基準作業量の**

詳細について把握、分析した上で理解を求める努力が必要ではないか。

**答** 開設当時におおまかな指導内容を設定しているが、現状と整合しない部分もあり、今後見直しが必要と考えている。

(福祉保健・子育て支援課)

## 創政会

奥藤 晃 議員

### 児童虐待について

**問** 本市の現状と傾向は。

**答** 平成21年度の児童虐待受理件数は、身体的虐待19件、ネグレクト(育児放棄)22件、心理的虐待15件、性的虐待0件となっていて、年齢別には就学前児童と小学生が増加している。

**問** 一般市民からの通告が義務付けられたが、学校医をはじめ、学校や医療機関から通告があった時の体制は。

**答** 通告者からの情報を確認したあと、関係機関と情報交換を行い、児童の安全確認を第一に優先し、48時間以内の安全確認及び調査を実施している。

(福祉保健・子育て支援課)



虐待の通告先になる京都府福知山児童相談所  
(京都府北部家庭支援センター)

### 教育行政について

**問** 学校統廃合の見通しは。

**答** 学校教育審議会の答申を受け地元説明会を実施した。今後は、早期に学校教育改革推進プログラムの原案を作成して、本年度中には最終決定を行いたい。

**問** 全国学力・学習状況調査を抽出校方式にした理由は。

**答** 府教委は、小学校で基礎学力診断テスト、中学校で学力診断テストを実施している。そのため、教育に関する継続的な検証などは確立している。

(教委・教育総務課、学校教育課)

### 役務の委託業務について

**問** 役務の登録業者の中で、本市に本社・本店がある業者が占める割合は。

**答** 平成22年度4月時点において、役務の登録業者数は769者ある。そのうち市内に本社・本店がある業者数は110者となっていて、占める割合は14.3%である。

**問** 市内業者育成についての考えは。

**答** 厳しい雇用情勢並びに経済状況や、仕事そのものの減少により、地元業者へ優先的に業務提供していく必要性や重要性は認識している。今後も競争性を確保しながら、地元業者に提供できる業務は、地元業者中心に指名し発注していく。

**問** 長期継続契約を実施するメリットは。

**答** 長期間にわたり安定的に業務を確保できることから、入札参加業者の競争意欲が高まり、結果として経費の節減が期待できる。また、発注者としても入札契約などの手続きを省くことができる。円滑な事務執行の遂行ができる。

**問** 入札までの見積期間は。

**答** 建設工事では、請負金額に応じて見積期間の定めがあるが、役務などは特に定めがないことから、建設業法上の期間を参考に運用している。(財務・管財契約課)

## 平成会

高宮 辰郎 議員

## 由良川緊急水防災対策について

**問** 由良川水系河川整備計画に入っていない筈巻、下天津、日藤、阿良須、在田地区などの整備計画の見直しと、今後のスケジュールは

**答** 第7回由良川流域懇談会が開催され、整備計画の見直しに向けたスケジュール案などが示された。それによると、次回の懇談会で変更整備計画の原案が示される。その後、公聴会で市民の意見を伺った後、その後の流域懇談会で変更整備計画案が提示される。その計画案に対する地方公共団体の長の意見が聴取され、変更整備計画が策定されると聞いている。

**問** 沿川地域住民の長年の悲願である三河橋、在田橋、筈巻橋の架替工事の予定は

**答** 潜没橋の架け替えについては、地域住民の悲願であることを充分認識している。市として引き続き事業化に向け京都府に

要望していく。筈巻橋架け替えについても、要望中であるが、事業化の目途は立っていないと聞いている。市として、三河橋、在田橋と同様、早期事業化に向けて府に要望していく。

(土木建設・都市整備課)

## 農山村定住対策の推進と地域づくりについて

**問** 「ふくちの農山村応援プロジェクト事業」は3年目を迎える。今までの17集落への取組状況と集落に共通する課題と問題点。そして平成23年度以降のプロジェクトの事業展開をどうするのか。

**答** 17集落の集落会議に市職員も参画し、地域の活性化のために取り組んでいる。集落毎にアンケート調査を実施し、その結果を参考にしながら、課題を把握し、取り組むべき事業計画を策定して事業を実施してきた。集落の将来を考えて計画的に取り組まれている集落もあるが、事業の取り組みがなかなか進みにくい集落も出てきている。いかに後押しをしていくかが一番の課題と考えている。今年度で終わるが、今の取り組みを今後とも継続していただきたいと思

(農林商工・農林管理課)

**問** 「酒香童子の里大江どぶろく特区」が昨年の7月17日に京都府で初めて認定された。取組状況と課題は

**答** 一昨年頃より福知山観光協会大江支部を中心にどぶろく造りによる地域振興について研究が始まった。その後、地元のだぶろく造りに関心がある人たちが研究会を組織し、製造現場の視察研修を実施。市としても、事務や各種調整のため緊急雇用制度を活用し、指導員を配置し支援している。今後の課題として、どぶろくの製造場所として元伊勢観光センターを利用するためには、改修などの資金調達が必要である。府内で初めての特区を売り出して、丹後天橋立大江山国定公園の玄関口として大江地域を全国に発信していきたい。

(総務・大江支所)

谷口 守 議員

## 利用しやすい市民病院にすための交通アクセスを

**問** 福知山駅から市民病院への交通の便が良くないと言う意見をよく聞く。そこで5月24日(8

時から15時半まで、市民病院前のバス停で実態調査を行った結果、次の点について提言したい。

- ①市民病院前バス停について、現在4力所に分散し、それぞれに距離が違いなど問題がある。そこで、市民病院南側に総合待合室を設け、そこには会社別でなく、福知山駅行の時系列の時刻表を提示する。また、福知山駅前のバス停にも市民病院行の専用乗場を設け時系列の時刻表を提示することにより、市外等の地理不案内にも誘導できる。
- ②京都交通線部線とJRバス(一部は乗り入れを定期化)の福知山駅止を市民病院まで延伸する。これにより朝の8時頃から15時頃までのバス全便を市民病院発着とし、福知山駅経由り入力で乗客増の実績が出ている。超高齢化・環境面からも公共交通の整備は喫緊の課題と考えるが。



屋根もない市民病院前バス停



**【答】** 現在、市民病院の乗り入れなどについてはバス事業者と検討中であるが、道路等施設整備については、予算の関係もあるので今後の検討課題としたい。

(市民人権環境・生活交通課)

**「(仮称)北近畿の都センタ―」市民検討会議の検討報告書を受けての対応は**

**【問】** 昨年9月から、公募と各層から選ばれた20名による市民検討会議が開催され、センター建設の是非、施設整備のあり方について検討いただいていた。そしてその間に、多様な意見で伯仲した議論がなされたと聞いている。その最終報告書が4月15日に提出された。報告書を拝見し、敬意を表し賛同している。私も昨年の本会議の質問で図書館の必要性を訴えた。市長も検討会議の結果を見て判断したいと答弁されたが、今、報告書を受けての対応は

**【答】** 市民検討会議には、一から検討いただきたいとお願いした。中間報告と今回、最終報告書をいただいた。今、庁内で検討チームにおいて計画させている。市民会館など将来の既存施設更新も見据え、検討結果報告も尊重

しつつ、都市規模に見合った市民の生涯学習の拠点施設とすることを基本に考えていきたい。

(企画政策・企画推進課)

## 日本共産党市会議員団

足立 進 議員

**福知山市土地開発公社の粉飾決算について**

**【問】** 理事会がこの間に決算を承認してきているが、不正が見抜けなかったのか。そして、市長は土地開発公社の理事長として今回、チェックできなかった責任をどう感じているのか。

**【答】** 開発公社の理事会は3月に次年度予算の審議及び5月に前年度の決算審議を行うために開催する。5月の理事会で、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書及び事業報告書の説明が事務局よりあったが、一筆ごとの土地の変動は提示されていなかったため、決算に関する財務書類を見るだけでは、簿価の引き下げが行われていたことを判別することは困難であった。また、5月理事会では決算書の数値などの照合だけであったの

で不適正な事務に気付かず深く反省している。市民のみなさんにお詫びする。

**【問】** 土地の買い戻しの見通しはあるのか。

**【答】** 現存地については、できるだけ速やかに再取得していくのが筋である。本市の事業計画の進捗状況や市財政との関連から、現実的には難しいが徐々に進めたい。

**【問】** 市民病院駐車場建設工事に係る贈収贈与事件時の法令遵守は、開発公社は関係なかったのか。

**【答】** 開発公社には「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」に基づき、派遣職員4名が所属している。この職員も法令遵守の取り組みには無関係ではなく、同様に取組んでもらっている。今回の件は、前例踏襲により起きたものと考え、法に触れている認識もなく、大変残念な結果である。

(財務・財政課)

**放課後児童クラブの拡充と指導員の勤務時間短縮について**

**【問】** クラブが、児童を受け入れる時には、名簿により参加確認をして、個々の対応に目を配り、

保護者との連携も図られている。本年4月までは、指導員の勤務時間が6時間だった。現在は5時間となっており、今年の9月からは4時間となる計画はどうか。

**【答】** 児童クラブの実情については、クラブを見たわけではない。学校との関係を聞くと、平常授業時は午後3時頃に子どもがクラブに来る。効率的、効果的な運営を図るために、本年5月より5時間としている。現状を見たなかでの取り組みである。

(福祉保健・子育て支援課)



おやつ時間(児童クラブ大江ピノキオ)

高宮 泰一 議員

**新防災センター用地簿価は粉飾ではないのか**

**【問】** 平成21年度決算でも、防災

センター用地原価7億4000万円と答弁している。これこそ簿価を3億6000万円も粉飾した決算で、4億2000万円も利益を計上する原因ではないのか。

**答** 防災センター用地の簿価については、どこかの時点で引き下げになっている結果、現在の帳簿上の簿価が7億4000万円になっているということで、取得原価の数字は現在の簿価を差引するという考え方でこの数字が上がっている。

**問** その答弁は納得できない。それでは、なぜ用地売却額16億6000万円は正しい簿価で計上し、用地原価は修正してない簿価12億2000万円で計上されているのか。

**答** 今回の決算処理の訂正は、平成21年度末に残っている土地について全て過去にさかのぼって正しい簿価に修正した。収入は、簿価ではなくいくらで買い取ったかということが収入に上がってくる。防災センターの土地は過去に下がっていた土地で平成21年度末の残高には入っていない。その部分は、差引する時には現在の簿価を前提に数字として計上することになる。過去に利益が上がっていたら過去

に準備金に積み上がっておらないといけないが、今回これを差引することで過去に積み上がったおくべき準備金の額が今回復活して準備金の額として上がっている。  
(財務・財政課)



新防災センター建設用地(東羽合)

地域公民館のパソコンなどOA機器の設置を

**問** 大江地域公民館では、コピー機がリース契約切れという理由で引き上げられ大変困っているが、全地域公民館のパソコンなどの設置実態はどのようなになっているのか。

**答** 印刷機は全館にリースで設置しているが、パソコン、コピー機、プリンターは旧町から引き継いだものはあるが、合併以降公費による設置はない。

**問** 公務の使用にパソコンなど個人の使用は大きな問題がある。早急に公費による設置を検討す

べきだ。

**答** 昨年、中学校のパソコンを更新したため、従来中学校で使っていたパソコンを活用する。新たにソフトが必要で平成22年度中に設置していきたい。

(教委・中央公民館)

吉見 純男 議員

国保の負担軽減を

**問** 国民に医療を保障するはずの国民健康保険料の負担が重く、病気になるっても医療が受けられない状態がある。市の国保料、滞納世帯数の実態、医療機関で一旦、医療費を全額支払わなければならない資格証明書の発行状況は。

**答** 国保料は、所得200万円40歳代夫婦・子供2人の4人家族で3万6360円。国保料滞納世帯数は5月末時点で2100世帯(滞納比率18%)。資格証発行数は5月末で210件となっている。

**問** 保険料が高くて払えない状況が起きている。1人あたりの保険料は昭和59年と平成19年比較で2倍以上になっている。命を守るべき医療保険の負担が重すぎて、病院にかかれず命を落とす。

す。こんなことがあってはいけません。財源確保に努力して、高すぎる保険料を引き下げるべきだが。

**答** 決して安い保険料とは思っていない。しかし、医療費全体が上がっているので保険料が上ががることは制度上しかたがない。円滑な運営のために、国のさらなる支援を要望している。保険料などの支払いができない場合は、保険課の窓口へ相談にきてもらうことが第一と考えている。

(市民人権環境・保険課)

子宮頸がんワクチンの公費助成を

**問** 市内の小学6年生の女子児童数は、391人となっている。半額公費助成で923万円余りあればできる。将来の医療費を考えれば大きな投資額ではない。日本産婦人科学会も公費接種を推奨している。市長の英断を求めるが。

**答** 女性や子どもの命を守るという点で、必要性は十分認識している。福知山市としては、対象者の年齢など検討事項も多く、地区医師会との調整、財源確保も含め京都府の「がん予防等戦略事業」と歩調を合わせて検討していきたい。(福祉保健・健康推進室)



## 合併処理浄化槽の格差是正は

**問** 市全域の人口水洗化率は95・4％であり、合併処理浄化槽設置区域は67・3％と遅れている。市町村設置型で促進する考えは

**答** 国も奨励しており、交付税措置などにより、市町村の財源負担や個人負担の軽減をはかる有利な制度だが、これまでの取り組みにより、設置計画の約60％が整備されており、市町村設置型の事業推進は困難と考えている。

**問** 合併処理浄化槽と集合処理の維持管理費における格差と、業者間格差の是正の状況と対策は

**答** 現在、「福知山市下水道ビジョン」の策定中である。将来の下水道の適正な維持管理、併せて、使用者の負担のあり方など含めて検討していきたい。

(下水道・下水道管理課)

塩見卯太郎 議員

## 地方税機構への苦情の実態と、親切的な対応を

**問** 地方税機構中丹地方事務所

(大江支所内)に移管の実態と、移管の案件をめぐって市民の苦情の実態はどうか。親切的な対応と、市の窓口でも対応できるように改善が必要ではないか。

**答** 4月から本格的に始動したが、移管された総数は約6万件。移管後、福知山市関係の相談は62件、催告書送付直後から市窓口で一日10件程度あった。分納相談は中丹地方事務所へ案内し、支払いの申し出がある方には、市で納付してもらっている。相談日を増やすことは状況を見ながら考えたい。

(財務・税務課)

## 荒廃農地解消に草刈り機購入の補助を

**問** 荒廃農地は、獣害被害や高齢化と、農産物価格の暴落などに起因しているが、現状と対策は。また、その一環として草刈り機の補助ができないか。

**答** 荒廃農地は少し改善されたが大きな課題である。機械の購入は、今、取り組んでいる農地・水・環境保全向上対策や中山間地域等直接支払交付事業交付金を活用した集落全体での取組の中で検討していただきたい。

(農林商工・農業振興課)



すすむ荒廃農地

## 人権行政の抜本的な見直しを

**問** 「人権ふれあいセンター施設等のあり方懇話会」で出された意見や議論された結果の報告書が6月1日市長に提出されたが、報告書についての市長の受けとめは。また、人権行政はいっ見直すのか。

**答** 昨年以來、懇話会が開かれ人権ふれあいセンターはじめ30カ所の会館の運営について、広範囲な議論をいただいた。出された意見を尊重し、深く受けとめている。今後、懇話会の意見と、市での協議内容を福知山市人権問題協議会に提起し、来年4月から新しい仕組みでスタートさせたい。

**問** 高校生学習講座の参加の実

態はどうか。今後は見直すべきではないか。

**答** 今年の応募は、掘会館で1人(昨年1人)、下六人部会館で2人(昨年2人)と少なく、続けるかどうか検討したい。

(市民人権環境・人権推進室)

**問** 二重行政となっている職員研修は見直すと言われていたが検討は進んだか。

**答** 研修については職員人材育成基本方針で取り組み、人権尊重するうえから人権推進室で推進している。ただし、所管については、今後十分尊重して方向性を出していきたい。

(市民人権環境・人権推進室、総務・職員課)

中島 英俊 議員

## 「広告」掲載は控えるべきではないか

**問** 市の公用車や封筒など、「企業の広告」が増えてきているが、現在と検討中の状況は

**答** 現在は4課で8件8社。契約金額は32万9000円。寄附付広告では2課約90企業で520万円。検討中は約13課17件。

(財務・管財契約課)

## 何のためにするのか

**問** 財政健全化・財源確保のため

め全庁的に積極的に取り組む。

**問** 各課で広告料は使えるのか。

**答** 2分の1は各課に返す。

**問** 競わせエスカレーターすると

広告のセンサーと担当職員で「悪しき馴れ合い」の始まりとならないか。

**答** 財政健全化は全職員の責務。

**問** それなら普通車を軽自動車に替えたり、発光ダイオードの電灯にしたり、人権という名の同和行政のムダをやめることこそ必要でないのか。

**答** 広告も、いろいろな工夫もやる中で、財政健全化を進めていきたい。

(財務・財政課)

## 「核兵器のない世界へ」

**問** 本年1月1日付で、本市は「平和市長会議」に加盟した。核兵器をなくす運動が大きく前進する一つの保障として、高く評価するが何をしていくか。

**答** 本市は昭和62年に「恒久平和都市宣言」をし、その後「日本非核宣言自治体協議会」に加わった。今後は「平和市長会議」の活動に合わせ、核兵器なき世界達成のために、私自身も努力したい。

(市民人権環境・人権推進室)

## 危険な地域にある学校耐震化を最優先に

**問** 市のホームページの学校耐震化状況の一覧表が、3月議会で指摘したのに、内容の改善なく放置されたままだ。なぜか。

**答** 平成21年度からの耐震診断業務の繰越分が6月末に結果が出るので、それを待って内容の充実もはかり速やかに更新したい。今後は随時更新し、リアルタイムで把握できるよう努める。

**問** 5月に全戸に配られた地震のハザードマップで赤色の「きわめて危険なところ」に、上六人部小学校や上夜久野の精華小学校がある。この学校の工事の目的がはっきりしない。ただちに最優先にすべきでは。

**答** ハザードマップに示される影響も勘案して、今後耐震化に取り組む。

(教委・教育総務課)

## 有害鳥獣捕獲は格別の取り組み強化を

**問** 平成21年度のシカの捕獲数は

**答** 駆除期2758頭、狩猟期452頭、合計3210頭。

**問** 今年春の生息調査結果数は

**答** 2932頭。

**問** 駆除数は3年前の2倍に。しかし、生息数も昨年比1.45倍。しかもメスは昨年より966頭増。生息調査は車の行ける範囲で、実際は10倍程といわれている。即ち約3万頭。駆除計画1900頭ではあまりに少なすぎる。

**答** 中丹の92%が福知山市で、努力していないわけではない。

**問** 昨年の3月30日付で、環境省から都道府県に、「猟友会員以外も駆除を認めよ」「罠いワナは免許がなくても可」の通達が出ている。知らされているか。

**答** 市には通知されていない。

(農林商工・林業振興課)

## 無会派

荒川 浩司 議員

## 私債権放棄の法的根拠は

**問** 平成20年9月議会でも私も質問して、平成21年4月に「福知山市債権管理条例」が施行された。今回初めての債権放棄は、1470件で8217万2597円となっている。私債権とは「福祉の貸付・水道料・病院の診療費・市営住宅使用料」などであり、民法には「時効期間が来て

も債務者本人が時効援用を行う意思表示がない限り」債権は消滅せず、自然債権として永遠に存在すると言われている。今回「債権管理条例」に基づき債権放棄がされたと聞くが、私債権に対し本人の時効援用なしに時効期間の満了のみで債権を放棄された法的根拠は。

**答** 地方自治法第96条第1項第10号の「権利を放棄する場合においては、議会の議決がある」となっている。ただし、「条例などの特別の定めのある場合においては、それが除かれる」ということであり、本来は議会の議決を得て権利を放棄するということだが、今回は、この部分の条例を昨年度制定したので、これに基づいて債権放棄を行った。

**問** 福知山市の「債権管理条例」は、民法を上回っていると言っ理解でよいのか。

**答** 債権が消滅するとかの問題ではなく、債権者として権利を放棄する、ということの根拠規定である。

**問** 私債権の時効期間についてはガス水道2年・病院診療費3年・住宅家賃5年・一般的な貸し金は10年となっており、私も裁判所に行き、債権徴収について担当者に聞いてきた。少額の





債権徴収に必要な裁判所の  
法的処理  
(京都地方裁判所福知山支部)

(財務・財政課 福祉保健・社会福祉課 市民人権環境・人権推進室 土木建設・建築課 市民病院事務・医事課)

**問** 「民生援護資金貸付金」は請求行為なし。「水道施設資金並びにテレビ共同受信施設資金貸付金」は、返済を請求した記録がない。「市営住宅使用料」は請求する旨の予告を行っているが、徴収実績はない。「病院診療費」は支払いを求めている。

**答** 裁判所の手続きは土木建設部のみ。時効の援用者はいない。

**問** 連帯保証人に対する徴収実績は、

**答** 債権でも、何回も裁判所に出向かなくても裁判所を活用して債権を回収する「支払い督促・小額訴訟」などで法的な決着が付けられ、市民が利用しやすい制度であった。ここで、お尋ねするが、今回の債権放棄で、裁判を活用しているのは土木建設部の一部だけと聞いているが、他の部署は、また、債権者本人が時効の援用をされた件数は、

## 6 月定例市議会常任委員会の審査報告

### 総務委員会

当委員会に付託された議第1号「平成22年度福知山市一般会計補正予算(第1号)」ほか7議案の審査を行った。議第1号の国民文化祭推進事業について、「国民文化祭」啓発状況を問う質疑があった。盆踊りフェスティバルと鬼文化交流祭典の2本の柱を掲げ、多面的な視点を持ち、平成23年の本番に向け啓発を諮るとの答弁であった。議第6号・7号・8号の「工事請負契約の締結について」、失格者が非常に多いこと、辞退の企業があること、共同企業体をなぜ組まれたのか、上限の公表はなぜするのか、

最低制限価格の計算方法、また入札は競争原理が働きの切磋琢磨することで入札の意義がある等の質疑があった。審査を行う上で委員会資料に工事期間の記載が必要との意見があった。予定価格の公表については談合防止と設計額の漏洩防止のため行っている。今後もより慎重に、透明性の確保、育成に努めたいとの答弁であった。その他各委員から数多くの質疑があり、それぞれ詳細な説明を受けた。以上8議案について審査を終え採決の結果、本議案は全て全員賛成で原案可決された。

### 市民厚生委員会

当委員会に付託された議第1号「平成22年度福知山市一般会計補正予算(第1号)」ほか2議案について慎重に審査を行った。所管部より多岐にわたる説明を受けた後、質疑に入った。議第1号では、介護施設整備に対する市の方針と、入所待機者の解消について質疑があり、国の経済対策や、待機者削減を図るための計画を前倒しで実施していく。また重度の待機者は、ほぼ解消されるとの答弁。また、株式会社の参入についての質疑では、平成12年に国の規制緩和により株式会社も可能になっている。旧金山小学校跡地利用の質疑では、地元からも活用の要望もあり、普通財産として無償貸与するとの答弁であった。他にも多くの質疑を経て、審査を終了し採決の結果、議第1号、議第5号、議第11号は、いずれも全員賛成で原案可決された。

### 文教建設委員会

当委員会に付託された3議案について慎重に審査を行った。

福知山停車場長田線・末広荒河線道路築造工事請負契約の締結についてでは、分割発注の検討と工程の概略、本年度の施工予定を問う質疑に対し、本工事は2か年の継続工事として、南側歩道及び車道の築造後、北側歩道及び車道の整備を進めていく予定である。本年度は、電柱の撤去と信号機を移設し、車道の切り替えを予定している、との答弁であった。また、和解については、公用車事故発生時の状況、原因、事故対応のマニュアル化についての質疑後、前年度から度重なる事故があり、今回の事故は本市側の過失割合も大きいので、十分な事故原因の究明をし、今後さらに再発防止対策をしっかりと練っていただくよう、委員長から強く要望した。

以上の経過で審査を終了し、採決の結果、付託議案はいずれも全員賛成で原案可決された。

議会日誌

5月～7月



〔5月〕

7日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会

12日 由良川改修促進特別委員会  
18日 鹿児島県霧島市議会行政視察来市、議員研修会

20日 総務委員協議会

26日 全国市議会議長会定期総会、経済委員協議会

28日 議会運営委員会  
31日 全議員協議会、各派幹事会

〔6月〕

1日 各派幹事会

3日 京都府市議会議長会

4日 議会運営委員会、6月定例会  
7日 議会本会議、全議員協議会

8日 各派幹事会

10日 総務委員協議会

14日 全議員協議会、経済委員協議会  
15日 福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員協議会

16日 6月定例会市議会本会議、各派幹事会

17日 総務・市民厚生・経済・文教建設委員会

18日 市民厚生委員会、福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員協議会

21日 福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会

24日 議会運営委員会、6月定例会市議会本会議、全議員協議会、各派幹事会、議会運営委員協議会、議会だより編集委員会

〔7月〕

5日 議会だより編集委員会

7日 兵庫県洲本市議会行政視察来市、福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員協議会

13日 議会だより編集委員会、福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会研修会

20日 福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員協議会

21日 富山県魚津市議会行政視察来市

22日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会

26～27日 由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会要望活動

27日 総務委員協議会

28日 福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員協議会、京都府北部五市議会連絡協議会

29日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会  
30日 由良川改修促進特別委員会要望活動

9月定例会市議会の予定(24日間)

9月7日(火) 招集予定

本会議

(提案理由説明)

15日(水) 本会議

(質疑、一般質問)

16日(木) 本会議

(一般質問)

17日(金) 本会議

(一般質問)

21日(火) 常任委員会

22日(水) 常任委員会

29日(水) 本会議(採決)

30日(木) 会期

\*この議会予定は、今後変更する場合があります。

編集後記

松山市政になり2年が過ぎ、振り返し点にきました。議会も合併後5年目を迎え、市民の目線での活動も一段と厳しくなってきました。下水道使用料の賦課漏れ、有害鳥獣駆除隊員事故、土地開発公社問題など、多くの課題が託された昨今であります。財政が厳しいが故に親しまれた「ミニSLフェスタ」などのイベント補助金打ち切りなども、本会議で質問対象になりました。長年の夢であったJR福知山駅周辺の整備工事もほぼ完了しました。今年度は「21世紀にはばたく北近畿の都 福知山」を理念として、力強く突き進んでいかなくてはなりません。少子高齢化の進む中、議会は鳥の翼のごとく、バランスをとりながら、市民のために頑張っていくことが大事と考えています。

議会だより編集委員会では、市民の皆様方に読みやすく、より親しんでいただけるために、今回アンケートを実施することになりました。宜しくご協力をお願いします。